

2023年3月31日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

クレジットカード決済の不正利用対策サービスを拡充 ～不正検知システム「Forter」の取り扱いを開始～

GMO インターネットグループにおいて、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、Forter, Inc.（Co-Founder & CEO : Michael Reitblat）が提供する不正検知システム「Forter（フォーター）」の取り扱いを2023年3月31日（金）より開始いたします。

GMO-PG が提供するオンライン総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」をご利用の EC 事業者は、「Forter」の導入が可能となります^(※1)。

(※1) 「Forter」の導入には、Forter, Inc.との契約が必要です。

不正検知システム「**FORTER**」の 取り扱いを開始

クレジットカード決済の 不正利用対策サービスを拡充

GMO PAYMENT GATEWAY

【背景と概要】

日本国内の BtoC EC 市場規模は、2021 年時点で 20.7 兆円（前年比 7.35%増）と拡大しています^(※2)。一方、クレジットカードの不正利用による年間被害額は 2021 年 330 億円（前年比 30.47%増）と増加しており、そのうち約 9 割が番号盗用被害となっています^(※3)。そのため、EC 事業者は不正利用対策が求められています。

GMO-PG は EC 事業者に向けたオンライン総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」を展開するなか、安心・安全な決済環境づくりのために多様なセキュリティソリューションを提供しています。クレジットカードの不正利用対策においては、クレジットカード取引に関わる事業者が実施すべきセキュリティ対策を定めた「クレジットカード・セキュリティガイドライン」に定められた 4 つの具体的方策「本人認証」「券面認証」「属性・行動分析」「配送先情報」^(※4) に対応したサービスをご用意しています。

GMO-PG では、EC 事業者の属する業界や商材・事業規模等によって異なるニーズ（機能・料金・カスタマイズ性等）に応えるべく不正利用対策サービスのさらなる拡充を進めており、この度、「属性・行動分析」のサ

ービスとなる機械学習を用いた不正検知システム「Forter」の取り扱いを開始いたします。

「Forter」は様々な業界において年間約 40 兆円以上の取引を判定する、20 万社以上に活用されている不正検知システムです^(※5)。「PG マルチペイメントサービス」をご利用の EC 事業者は「Forter」を導入することで、精度の高い取引判定による承認率の向上と不正損失の削減、および疑わしい取引の目視確認負荷の削減を実現できます。

(※2) 2022 年 8 月発表 経済産業省「令和 3 年度 電子商取引に関する市場調査 報告書」

<https://www.meti.go.jp/press/2022/08/20220812005/20220812005-h.pdf>

(※3) 一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の集計結果について」(令和 4 年 12 月 28 日公表)

<https://www.j-credit.or.jp/download/news20221228a1.pdf>

(※4) クレジット取引セキュリティ対策協議会(事務局 一般社団法人日本クレジット協会)「クレジットカード・セキュリティガイドライン【4.0 版】<公表版>」

https://www.j-credit.or.jp/security/pdf/Creditcardsecurityguidelines_4.0_published.pdf

(※5) 2022 年実績。Forter, Inc.調べ。

【「Forter」について】(URL: <https://www.forter.com/ja/>)

「Forter」は、オンラインビジネスにおけるクレジットカードや他決済手段による不正、アカウント乗っ取りやプロモーション悪用などの不正を検知するデジタルコマースのためのクラウドプラットフォームです。購買行動のあらゆる段階において、瞬時に精度の高い取引判定を提供します。独自判定プラットフォームは、従来の不正対策に比べ、より高い精度で不正行為を特定し、保護するため、Nordstrom、Instacart、Adobe、Priceline など、世界企業で採用されているルールベースに替わる“アイデンティティ”に対する深い知識と自動化のテクノロジーを駆使し、企業が不正行為を防止し、収益を最大化し、顧客に優れた体験を提供することを支援しています。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DXなどを支援する決済を起点としたサービスを提供しています。年間決済処理金額は 12 兆円を超えており、オンライン総合決済サービスは EC 事業者や NHK・国税庁等の公的機関など 10 万店舗以上の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL (Buy Now Pay Later)、金融機関・事業会社への BaaS 支援、海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。(2022 年 12 月末現在、連結数値)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略 統括本部 広報・UX 部
TEL : 03-3464-0182
お問い合わせフォーム :
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

- GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 山崎
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
イノベーション・パートナーズ本部
イノベーション戦略部 マルチペイメント Gr
TEL : 03-3464-2323
E-mail : product_iso@gmo-pg.com

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL: <https://www.gmo-pg.com/>)

| | |
|------|--|
| 会社名 | GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム 証券コード: 3769) |
| 所在地 | 東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス |
| 代表者 | 代表取締役社長 相浦 一成 |
| 事業内容 | ■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス |
| 資本金 | 133 億 23 百万円 |

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

| | |
|---------|--|
| 会 社 名 | GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム 証券コード:9449) |
| 所 在 地 | 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー |
| 代 表 者 | 代表取締役グループ代表 熊谷 正寿 |
| 事 業 内 容 | ■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業 |
| 資 本 金 | 50 億円 |

Copyright (C) 2023 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.